

Ja-Net

No.26

2003年7月25日発行

● View from the Other Side	3
● あちこち日本語ご紹介[三重県 亀山市]	4
● あちこち日本語ご紹介[ラトヴィア共和国 リーガ]	5
● 教材紹介	
『語彙力ぐんぐん1日10分』	6
『ブラジル人と小学校教師のための学校生活まるごとガイド』	6
『日本語文法習得歌を中心とした対人関係の表現待望表現』	7
『新日本語の中級 会話場面・語彙イラストシート』	7
● なんでも情報BOX	8

Ja-NetはJapanese Networkの略です。「日本人」として日本と海外の情報の差が気になりますか？

スリーイーネットワーク

巻頭寄稿

逆風に揺れる 教室の中の「ことば」と「学び」

◆ 東京都港区立三光小学校 主幹
日本国際理解教育学会 常任理事
全国海外子女教育国際理解教育研究協議会 副会長
宇土泰寛



学校改革を担った総合的な学習の今

21世紀の地球時代を迎えた今、多文化共生社会の教育のあり方が求められ、教科学習の視点とは異なる総合的な学習の時間も創設され、新たな教育が始まりました。ところが、新たな学びの世界を求めて、総合的な学習の時間を通した「知の大航海」が始まった。その時、学校には、強烈な逆風が吹き荒れ、新たな実践への営みもしぼんでしまったのです。

平成13年度の東京都内における研究指定校の発表動向を独自に調査して見ますと、総合的な学習に関する研究発表をした学校が81%もあり、教科学習は11%で、残りが両方を扱った学校でした。ところが、平成14年度では、総合的な学習に関する発表は40%へと半減し、教科道徳に関する発表が36%と増加しています。そして、両方取り扱ったのが、8%から24%へと増えているのです。今年度以降は、更にこの傾向が加速されるでしょう。

総合的な学習においては、教科の枠にとらわれた学習から、テーマなどを軸にした学習へと児童生徒の主体的な学びが重視され、更に、時間の枠、教室の枠からひらかれた学びが展開され、カリキュラム自体の発想も、指導計画型から学びの履歴としてのカリキュラムへと大きく変わろうとしていました。

確かに、今まで教科の発想で作られてきた教育課程をもとに実践してきた学校や教師にとって、総合的な学習は、いろいろな面で課題があり、まさに新たな挑戦が要求されました。新しいカリキュラム論、そして、学びの方法論、環境構成論、活動論、表現論、ネットワーク論など、新たな学校づくりと言ってもいいくらいのたくさんの研究課題があり、地域の人々や専門家集団などを巻き込み、子供と共に創り出していくものでした。もちろんそこでは、外国人児童生徒等も交えたより多様な学びの環境が生み出され、多文化共生へと進む道が見え始めて

いたのです。しかし、このような新たな学校のあり方の探求を始めようとした矢先に、「学力低下」という逆風の言説が、一気に吹き荒れてきたのです。

多様性の消える教室風景

学力低下は、各教育委員会レベルでの学力テストの実施、各学校間の競争へと加速されていっています。また、授業の風景も、旧来の教師の権威的・権力的な指導法が復活してくるのです。現実的には、多様な考え、いろいろな意見交換、自らの興味関心の探求、協働的な学び合いなど、多様性と共同性を持った学びの場から、限られた知識の習得、競争原理を基にした教室へと戻ってしまう可能性が大きいのです。さらに、競争が激しくなると、学力テストにおいても、学年や学級の平均を下げる要素はできるだけ排除したくなります。この中に、外国から来た児童も入りやすい傾向があります。もちろん平均を上げる児童生徒もいますが、日本での滞在期間が短い児童生徒には厳しいものになります。また、学習の効率を高めるために、短時間での学習やドリル的な学習が増加します。そこでは、授業のコミュニケーションが教師からの一方的なものになったり、児童の反応も決まった答えになったりしがちです。ここでも、教室の中の双方向性や多様性が失われてきます。

逆風に揺れる「ことば」と「学び」の示す危機

このように、逆風の吹き荒れる現在の教育の動向は、「ことば」と「学び」の次元においても、深く影響を及ぼしてることが分かります。ことばと学びは、非常に政治的・社会的な側面からの影響を受けながら、学校教育の最も基礎的な次元で、子供たちに深刻な影響を及ぼしているのです。この影響は、日本の児童生徒にはもちろん、外国人児童生徒にも、大きな影響

を及ぼすのです。外国人児童生徒教育においても、短期的には、学習内容や学習の仕方が単純化され、指導しやすいなどと感じるものがあるかもしれません。しかし、学びの場自身がモノローグな場になっていくことを考えると、だんだんと時間をかけて迫ってくる危機的な状況ともいえます。

たとえば、今、学力低下論とともに、学校に復活した目当てがあります。多くの学校で、「聞く」態度を育てるという目標です。

もちろん聞く態度は多様な学びにおいても、きわめて大切なものです。そして、「聞く」は従来受身的なものに捉えられがちでしたが、非常に能動的なものであり、世界的には、Active Listening として重視されています。ところが、この「聞く」態度の重視は、やはり日本では、どうしても聞く「態度」「姿勢」重視の傾向として出てしまうのです。再度、日本的な文脈での基礎基本の型の復活がなされ始めているのです。

このような文脈での聞く態度形成では、ダイアログな方向性は生まれず、教師の権力的な関係が強化され、過度の一体感や同一性の風土が学級にも蔓延していくのです。

21世紀の地球時代の教育が、多文化共生社会の形成とその一員としての人の生き方を育むことを目指すならば、これらの動向は、従来の同一化を目指す教育であり、現在の教育動向はきわめて複雑なしかけを持った危機的な状況に進みつつあるともいえます。

多文化共生の教育を求めて

このような動向に対して、日本の教育実践を歴史的に見れば、実践者は、今何をすべきかわかる問題でもあります。

今までの日本の学校教育では、今回の総合的な学習の背景にある子供の主体性を重んじる視点と教科学習の体系性を重んじる視点との間で、揺れ動いてきたのです。

子供の主体性を重んじる視点を持った大正時代の新教育に対して、その反対の戦前の皇国教育、戦後すぐのコアカリキュラムの教育で、再び、子供主体の教育になりましたが、昭和33年の教育の現代化により、教科学習の体系性を重んじる視点にかえたのです。それに対して、今回の学習指導要領において、「生きる力」を育む教育、総合的な学習の時間の創設など大きく変わったのですが、今回一気に、学力低下論として、またしても揺れ戻しが起こっているといえるのです。

もはやこのような揺れ動きには動じることなく、しっかりと明日を見つめ、子供を見つめ、共に実践を積み重ね、二項対立の罫に陥ることなく深めていくことが、実践の場に直接関わる



者にとっては大事なことでと痛感します。

子供たちが一日の大半を過ごす学校や教室における「ことば」と「学び」は、実に教育状況を反映します。しかし、日本人だけの学校という意識の強かった時代、「ことば」への意識は教師にとって弱いものでした。日本語はできて当たり前の中では、そうなっていくのです。学校の周縁に位置する日本語教室や国際学級は、周縁に位置するがゆえに、「ことば」の役割とその状況を敏感に感じることができるともいえます。

小学校での英語活動など、新たな言葉の学習も含めて、その根底にある「ことば」と「学び」のあり方を広い視野で探求し、多文化共生の教育を実現していきたいものです。

今回のテーマ：「多文化共生の教育」の情報は、下記からもご覧いただけます。

●全国海外子女教育国際理解教育研究協議会（全海研）

全海研は、□海外子女教育□帰国子女教育□国際理解教育□外国人子女教育□日本語教育□補習校教育、の実践・研究のため、各都道府県組織と連携して活動しています。<http://www.zenkaiken.net/>

●フォーラム「ことばと学び—昨日・今・明日—」

HPとリンク頁に、多文化共生の教育をテーマにした情報を掲載。

（フォーラム「ことばと学び」を8月22日に開催します。申し込みは7月10日に終了させていただきました。多くのお申し込みありがとうございました。）
<http://www.3anet.co.jp/kolobatomanabi/index.html>

●「地球号の子どもたち 宇宙船地球号と地球子供教室」

研究と実践の協働による教室改革をめざし、地球的視点からの国際教育プログラム創出に取り組んだ実践的研究を掲載した一冊です。

地球号の子どもたち

宇宙船地球号と地球子供教室

四六判 259頁 2,100円

著者：宇土泰寛 発行：創友社



宇土泰寛（うと やすひろ）

1950（昭和25）年、長崎県に生まれる。青山学院大学大学院教育学専攻。東京都新宿区立淀橋第六小学校教諭を経て、84（昭和59）年ニューヨーク日本人学校派遣。3年間海外子女教育の課題に取り組む。帰国後、東横谷小・蒲田小にて、総合学習プログラムの創出に向けて国際理解教育の研究を続ける。「教室の国際化を進める国際理解教育」と「国際理解教育の視点から生まれる地球時代の教室づくり」で国際理解教育奨励賞優秀賞を2回受賞（1992年、2002年）。主要著作に「国際化と幼児の教育」（『幼児の生活と教育』岩波書店）、「小学校における地球時代の国際教育」（『日本の教育力』金子書房）、『いっしょにまなぼう Learning Together』（共訳、ERIC出版）等がある。日本国際理解教育学会常任理事、全海研副会長として実践者の立場から研究を継続。現在、東京都港区立三光小学校主幹。





このコラムでは 学習者の視点での話題をお届けします

VIEW FROM THE OTHER SIDE

日本語の勉強は山脈のよう… いろいろな山を乗り越えて

フェルナンド・ゴンサレス



私が「日本語」を始めたころ…

日本語の勉強を始めたのはずいぶん前の話になる。当時、日本語教育はメキシコはもちろん、全世界でも、あまり普及していなかった。教科書や辞書なども少なかった。テープレコーダーはあったが、普通の人の家にはないものだった。ウォークマンももちろんなかった。日本語の聴解練習がしたい時は、日本語学校へ行って、先生にお願いしてオープン・リールのテープレコーダーで聞かせてもらうしかなかった。このように困難なことがたくさんあったのに、先生方は本当によく日本語を教えてくださいましたと、感謝の念に堪えない。

普通の人がテープレコーダーが買えるようになるまでに何年もの時間を必要とした。国際交流基金の寄付で、日本語学校に初めてのビデオデッキが入ったときの感動は今でも忘れられない。

現在、ノートパソコン、電子辞典、インターネットなどを利用して、日本語を勉強することは、全然珍しいことではない。これをみると、最近の技術の進歩の速さはすごいと思う。私が日本語の勉強を始めたときに、同じようなモノがあったらよかったのに、といつもうらやましく思う。

日本語の勉強は山脈のよう…

しかし、日本語の勉強に使える便利なものがなかったことはさておき、「日本語」そのものの難しさが、大変だった。例えば、「～である・～ている」の使い分け、「あげ・もらい」特に「くれる」の意味、敬語の正しい使い方、そして数の多い「漢字」の意味・書順・熟語などを覚えるのは不可能なことのよう思えた。

時々、日本語の勉強は、山脈のようだと考える。その山脈の向こう側に行けるようになるには、乗り越えなければならない山がたくさんある。ある山は乗り越えやすいが、他の山はとても乗り越えにくい。最初は日本語は易しいと思ったが、勉強すればするほど難しくなってきた。色々な先生に、ある文法項目について、何回も聞いてみても、細かいニュアンスの違いがなかなか分からなくて、困ったことがよくあった。私みたいに、「これ以上、努力しても無駄だ」と思って、いらいらしたことのある日本語の学生は少なくないと思う。

しかし、諦めないで何回も使っているうちに、ある日、その文法項目が上手く使えるようになる。「やっとこの山を乗り越えた」と思ったら、次の山が現れてくる。日本語の勉強はそれの繰り返しだった。日本語の色々な山を乗り越えるのに、何年



もかかった。お蔭さまで、今では、日本語を話したり書いたりするのはほとんど問題がないと言えるようになった。

今、日本企業の担当として…

日本語の勉強を始めた元々のきっかけは、日本に留学したかったからだ。最初はほとんど趣味みたいなものだったが、日本人の友達ができたり、日本語を通じて色々な経験をしたりして、言葉、そのものが本当に好きになった。大学卒業後、サラリーマンになって、日本へ行く機会は今まで何回もあったが、結局、留学はまだしたことがない。

数年前に日本企業のメキシコ事務所に就職して、仕事で日本語を使うようになった。最初は大変だったが、日本語ができたお蔭で、他の外国人社員が理解できない日本の会社のシステムや仕事のやりかたなどが理解できたのは、とても素晴らしい経験だった。

現在、アメリカの企業でやはり日本企業を担当している。朝から晩まで、日本語を使って日本人のお客様と色々と交渉したり、又、インターネットを使って、日本の最近の情報を得たりしている。それから、日本語の勉強のため、会社に向かっていく時車の中で日本語のCDをかけてよく練習している。

今、全世界で、日本語の勉強に頑張ろうとしている人が大勢いると思うが、その皆さんに「それぞれの山を乗り越えるのは大変だが、諦めないで、頑張ってください」というメッセージを伝えたいと思う。日本語には十分その努力の価値があるからだ。

フェルナンド・ゴンサレス

1961年メキシコ・メキシコシティ生まれ。78年に日本語の勉強を始め、83年にメキシコの大学を卒業、84年から日本語教師を経験する。88年にメキシコの経営経理修士課程を卒業後、損害保険業界に勤め、現在は米国の大手保険会社でRegional Managerをしている。

E-Mail: gonzalezfer@infosel.net.mx

あちこち日本語ご紹介

国内編



三重県
亀山市

亀山市での共生とは

亀山市立亀山西小学校 日本語教室担当
富田裕子

亀山市では拠点校システムを

三重県亀山市では1991年4月より外国籍の子どもたちを受け入れるようになり、本年度で12年目を迎えようとしています。受け入れ当初は教材もほとんどなくて手さぐり状態でしたが、現在では子ども向けの教材もたくさん出版され、いろいろと取り入れられるようになってきました。亀山市では拠点校システム（注）を、受け入れ当初から取り入れてきています。

このシステムの規定も何度か見直されましたが、現在では来日2年未満の児童を保護者の意向尊重しながら亀山西小学校、亀山中学校で受け入れています。そして2年間で拠点校ですごした子どもたちは、その習得状況や保護者の意向を尊重しながら校区の学校に戻していくという方式で取り組んでいます。しかし、なかなか校区に戻っていく事例が少ないのが現状です。



希望教室での指導では、子どもたちが目標をもって日本語学習に取り組めるような環境づくりを目指す。

亀山西小学校 希望教室では・・・

受け入れ1年間の日本語指導カリキュラムを48項目あげて作成しています。その中で6回ほどのまとめのテストを行い習得状況を判断しています。このカリキュラムは子どもたちにも「がんばりカード」として表示して目標をもって日本語学習に取り組めるようにさせています。

また、48項目に応じたワークシートを棚に常備して自主的に学習できるような環境づくりを行っています。これは少ない人数での指導体制で、多様な習得レベルの子どもたちをそれぞれのレベルにあわせて指導していかなければならない状況から生まれてきた方式でした（現在15名の児童を2～5名の指導者で行っています）。

また、1週間に1時間全員の外国籍の子どもたちが集まる時間も特設しています。この時間を子どもたちはほんとに楽しみにしています。

亀山市の取り組みでは・・・

現在亀山市には28カ国、1752名の外国籍の人が市民として登録されている（2002年1月30日時点）実態で、これは全市民の4.32%になります。3年前から市の企画課主催で、外国人のための日本語教室を開催しています。

1年間を通しての教室で、いままでたくさんの外国人が参加されました。今年も5月から3月までこの教室が開催されています。3年前はほとんど南米の方の参加でしたが、最近では多国籍にわたって参加者が増えてきたので教材づくりの工夫が必要になってきました。また昨年から日本語指導サポーター養成講座がKIFA（亀山国際交流の会）主催で開催され、日本語指導ボランティアの養成にも力を入れています。

KIFA（亀山国際交流の会）とは・・・

2001年度より発足したこの会は同じ町に生活する仲間として、触れ合う場と機会を作るという活動目標のもとにいろいろな企画をしてきました。KIFAニュースの作成（市広報「かめやま」の情報を



毎週土曜日開催の亀山市日本語教室（この時は上級クラスで「自動詞・他動詞」の学習）

抜粋した英語とポルトガル語の情報誌）や交流会、浴衣の着付教室、外国人による日本語弁論大会、ポルトガル語教室開催、日本語指導サポーター養成講座開催など活発に活動を展開しています。この会には外国人も数名メンバーとして活躍しています。

UBJ（絆・ブラジル・日本）も発足

UBJとは2002年に四日市、鈴鹿、亀山、津、河芸に住んでいるブラジル人が中心になって設立されたブラジル人のための会です。この地域に住んでいるブラジル人が、安全にすみよい生活を送れる社会になるようにと様々なボランティア活動をしています。

先日亀山市で行われたヤングフェスティバルで、地域の人々にブラジルのことを理解してもらえるようにとブラジルの食べ物の店を出店しました。また、「学校に行こう」という外国の方々への日本の教育システムの説明会を開催したときにも、UBJとの協力体制のもと多くの外国人に参加してもらっての開催となりました。さらに町の清掃活動なども行い、地域とのよりよい共生をめざし活動を続けています。

（注）拠点校システム：外国籍児童生徒の受け入れ校を市内の2校に特定して、その学校で一定期間、日本語指導を行うシステム

あちこち日本語ご紹介

海外編



ラトヴィア共和国
リーガ

ラトヴィアの日本語教育-小学校から大学まで-

神戸大学留学生センター（非常勤講師）、大阪学院大学（非常勤講師）
福井美佐

ラトヴィア共和国という国をご存じでしょうか。1991年旧ソ連から独立を回復したバルト3国の真ん中に位置する人口250万人弱の小さな国です。首都はリーガ。800年を超える歴史を持ち、中世の佇まいを残した旧市街や、繊細なアールヌーボー建築群を持つ世界遺産にも指定された美しい街です。在留邦人はわずか10名程度で、日本企業も直接進出はしておらず、あまり日本との関係は深くないように思われますが、そんなリーガの街に、日本語を勉強する学生達が大量います。日本語が勉強できる公立の教育機関は2機関。ラトヴィア大学とリーガ文化学校です。



小学1年生と一緒に、左から2番目が筆者
（リーガ日本語文化学校、1995年）

リーガ市立リーガ文化学校（リーガ日本語文化学校）

ラトヴィアの日本語教育の大きな特徴といえば、小学校から日本語を教える公立学校が存在するという点でしょう。前身であるリーガ日本語文化学校は1993年、独立回復直後の混乱期に、アパートの地下に小さな12年制の学校として設立されました。私が日本語を教えていたのは1994年～1995年、そして1999年～2002年。初めて行った頃は、小学校1年生から高校2年生まで合計80名程度が、日本

語をほぼ毎日学ぶことを中心にしながら他の教科も勉強する、大きな家族のような学校でした。1999年に戻ったときには学生数も増え、法整備されるのに従い、一般科目も充実してきました。しかし、教育制度改革のために他の学校と合併し、2001年現在のリーガ文化学校となりました。合併後生徒数の増加に伴い日本語が必修科目から選択科目に移行していくのは仕方のないことかもしれませんが、残念です。

この学校では日本人教師2名と日本語文化学校の卒業生でもあるラトヴィア人教師1名が、少ない教材をやりくりしながら、日本語を教えています。生徒達の入学動機は日本が好き、興味がある、親に入れられたなど様々ですし、一生懸命な子、おしゃれの方が興味のある子、やさしい子、可愛い子、やんちゃな子たちと色々です。そんな生徒達に囲まれてすごした日々は、大変なこともありましたが、私にとっては大事な思い出です。

ラトヴィア大学現代言語学部東洋学科日本学講座

ラトヴィア大学における日本語教育は1997年に夜間プログラムとして出発し、1999年に現在の日本学学士課程に昇格しました。学生の募集は隔年で、現在2年生と4年生が各10名（内3名が日本の大学に留学中）、日本学と日本語を勉強しています。また、東洋学科の修士課程でも日本語教育を提供しています。私は1999年から2002年まで講師として勤務し、日本語を主にし、日本文化、古典な



茶道の時間で日本文化を学ぶ。
（リーガ日本語文化学校、2001年）

ども教えていました。新入生はほとんどがゼロ初級ですので、『みんなの日本語』を使って勉強しています。設立当時は教材も非常に少なかったのですが、国際交流基金や色々な方の寄付により、教材や日本学の資料もだんだん増えてきました。学生の興味は幅広く、日本文化や日本ビジネス、宗教、教育史、浮世絵、マンガなど様々なテーマでレポートや卒業論文を書いています。日本語も、文法や読解だけでなく、苦勞しながら古典などに取り組む姿はこちらにもパワーを与えてくれます。

これからのラトヴィアの日本語教育

ラトヴィアの日本語教育の課題はまだまだ山積みです。私が過ごした時期は、創設期で、教材もない、教師もない、カリキュラムも確立していないという、まだ手探りの状態から、ようやく少し前を見ることができるようになったかなという時期でした。帰国してからほぼ1年。ラトヴィアという国も、そこでの日本語教育も変化を続けています。来年のEU加盟により懸案だった卒業生の進路にも可能性が広がるのではないかと期待しています。

教材紹介

『語彙力ぐんぐん 1日10分』

『BEM-VINDO À ESCOLA PRIMÁRIA DO JAPÃO

ブラジル人と小学校教師のための学校生活まるごとガイド-ポルトガル語訳つき-』

『日本語文法演習 敬語を中心とした対人関係の表現-待遇表現-』

『新日本語の中級 会話場面・語彙イラストシート』



『語彙力ぐんぐん 1日10分』

日本語講師 河野桐子

むずかしい本文に入る前に、学習者の緊張を和らげる方法はないか。この本は、本書の「*中・上級教科書との対照表」にあるテキストを教える際に、現場で使ったプリントをまとめたもので、擬音語・擬態語や、慣用句に使われている語を中心に上げています。授業のウォーミングアップとして、途中のアクセント、最後の楽しいまとめとしても利用できます。また文字・語彙を楽しく、しかも効率的に学ぶために、次のような提案をしています。

● 言葉が使われる場面をイメージさせる

笑う時、怒る時の声や動作を教室で実演しながら、教えると、授業がより楽しくなります。

● 言葉のリズムを利用する

「うんうん」、「つつん」のような同じ形をもった語を集め、そのリズムを利用して覚えます。

● 学ぶ人の想像力を高める

「〜つくり」で終わる語を並べると、学ぶ人が「じゃ、『ぱつくり』もあるのかな？」と語に興味を持つように導いています。

● 言葉の面白さに気づかせる

「目」や「虫」、「水」など、ある関連をもった語を集め、その語の慣用的な使われ方に注目させます。

● 自分で工夫できるようになる

「無〜」で始まる語、「〜然」で終わる語や、「人」のつく語に共通した意味に気がつくと、語をまとめる面白さがわかります。

● 会話の中で自然に使えるようにする

問題には会話文を多く取り入れ、単語だけではなく一文として覚え、実際の会話の中で自然に使えるようにしています。

別冊の解説には、教師が言葉の意味を説明する時のいろいろな工夫を書きました。授業の中で役立てていただけたら幸いです。

語彙力ぐんぐん 1日10分

A 5判 64頁 800円

著者：河野桐子 野口仁美 馬原亜矢

「*中・上級教科書との対照表」の教科書：「日本語中級J501」「テーマ別中級から学ぶ日本語」「テーマ別上級で学ぶ日本語」「生きた素材で学ぶ中級から上級への日本語」



『BEM-VINDO À ESCOLA PRIMÁRIA DO JAPÃO ブラジル人と小学校教師のための学校生活まるごとガイド-ポルトガル語訳つき-』

中国帰国者定着促進センター教務課 日本語講師 池上摩希子

本書はタイトルにもあるように、ブラジルから来日した人と小学校の先生のためのガイドブックです。私たちは来日した子どもたちの日本語学習を支援する立場にあって、子どもたちが日本の学校生活や学習にとまどい、困難を感じている現実に直面してきました。問題は多様で複雑で、ガイドブックひとつで解決できるものではありません。しかし、何かきっかけになるものが必要なのではないかと考え、本書を著すことにしました。

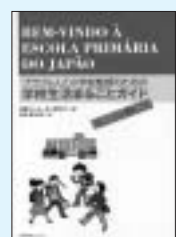
作成にあたっては、小学生の保護者、教育委員会派遣の指導協力者、ブラジル人児童が多数在籍している小学校の先生など多くの方々にご意見を伺って、構成と内容を整えました。本文は日本語とポルトガル語の対訳（見開き）とし、日本語の重要語句にはふりがなをつけました。また、学校との連絡や保護者の会話場面を題材に「日本語学習のヒント」のコーナーも設けてあります。本書の情報だけで学校生活がうまく運ぶものではないので、日本語学習を通じてブラジル人の保護者と周囲の日本人とのコミュニケーションが進むよう期待しています。

今日、異なる文化や言語を背景に持つ子どもたちをとりまく環境はまだまだ厳しいようです。地域や学校から必要な情報が得られればよいのですが、すべての地域で、求められる情報が提供できているわけではありません。ですから、本書も子どもたちや保護者と先生や支援者をつなぐための一助となれるのではないかと思います。最後に、学校関連の情報は地域や学校によって違いがあります。支援者であれ当事者であれ、それをご自身で確かめながら本書を使用してください。その過程で生まれるコミュニケーションによって、日本での生活がよりよいものとなりますことを願っています。

BEM-VINDO À ESCOLA PRIMÁRIA DO JAPÃO
ブラジル人と小学校教師のための
学校生活まるごとガイド
-ポルトガル語訳つき-

A 5判 201頁 1,500円

著者：須藤とみゑ 池上摩希子
訳：濱本真由美



日本語文法演習 敬語を中心とした 対人関係の表現-待遇表現-

B 5 判 102頁 1,300円
著者：小川誉子美 前田直子



新日本語の中級 会話場面・語彙イラストシート

B 5 判 150頁 1,800円
編著：(財)海外技術者研修協会



『日本語文法演習 敬語を中心とした対人関係の表現-待遇表現-』

横浜国立大学留学生センター助教授 小川誉子美

上級学習者から必ずといっていいほど希望がでる項目に、待遇上のマナーを含む「敬語」があげられます。これは、「自分の言い方は失礼ではないか」「場面にふさわしい言い方をしているだろうか」という不安からくるようです。初級テキストでは、会話運用力を重視し、以前より早い段階から敬語が紹介されていますが、上級レベルでは、待遇表現という視点から、会話を見直す機会が限られていることによると思われます。本書は、こうした声に応え、学習者が遭遇する問題点を中心に、敬語体系を整理し、対人関係の表現を機能別にとりあげました。学習者自身がルールを導くという、本シリーズの演習形式ですすみます。

- ・謙譲語で「ご紹介します」といえるのに、「ご結婚します」とはなぜいえないのか
- ・「お宅へうかがいます/お宅へまいります」は両方言えるのに、「電車がまいります/×うかがいます」の場合は、なぜ片方しかいえないのか
- ・「お見せしているグラフは、昨年のものです」「お見せしておりますグラフは、」と、初級で「普通体」を使うと習ったところに「ます形」が入る形式はほかにもあるのか

- ・目上の人を「ほめる」ことは待遇上可能か
- ・「お控えください」「もう少しかな」「意外とおいしいですね」「それはそうなのですが」「そうでしょうか」「悪かった」などの意味と使い方
- ・目上の人と丁寧さを維持しながら親しみを表したいとき、普通体のできる部分があるのか。

本書はこうした疑問に答えています。

さらに、学習者にとって難しいのは、どんな相手にどの程度の敬語がふさわしいのかという、待遇レベルの判断です。そこで、本書では、場面や状況を明示し、そこで使われる例として敬語の使い方を提示しました。巻末の練習では、Eメールや伝言例、携帯電話の自動メッセージ、新聞に掲載された謝罪文、対談、文学に現れる敬語なども扱っています。円滑な対人関係に重要なのは、話し手の気持ちであることは言うまでもありませんが、この気持ちを伝える手段としての表現を身につけておくことも重要です。

本書での学習を通じ、敬語不安が除かれ、それぞれの立場や状況で期待されるコミュニケーションに対し、自信がもてるようになることを望みます。

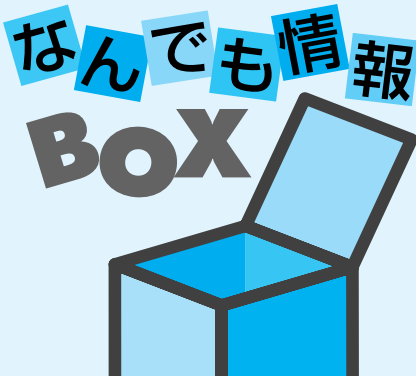
『新日本語の中級 会話場面・語彙イラストシート』

(財)海外技術者研修協会(AOTS) AOTSE日本語教育センター 春原憲一郎

パイプルのように教科書を使う時代があった。教科書に書かれてあることは(ほぼ)全部正しく、舐めるように一頁一頁(一課一課)やっていく時代が…。教科書はまさに<教>える側のためにあった。教える側が学習の仕方も進度も決めて、材料(<教>材)も内容も選んで、学習者はそのレールの上を秩序正しく鈴と鞭を与えられながら進んでいく時代が…。最近ようやく消費者が、患者が、学習者が、つまり当事者が自分の求めているもの、必要なものを要求できるようになってきた(かなあ)。安全な食品を、治療の道程を、学習の方法を選択、設計、決定するのは最終的に当事者である。提供してほしいのは、情報と素材と仲間。学習のヒントと刺激に満ちた素材・リソースがたくさんあったらいい。

それにアイデアにあふれた活動の宝船があればいい。『新日本語の中級』という教材・学材は、一種の素材群。会話文も読解文も音声部分も…、それに絵・イラストが加わった。4～6コマイラストも、語彙の絵も、いろんな使い方ができる。よく使われる手としては、描写

したり、ストーリーテリングしたりする。また、対話を起こしたり、文脈を予測したりもできる。その他に、クリティカル・ビューイングなんかもできる。例えば、「お医者さん」はどうしていつも男なの？「蛍光灯を取り替える」の絵は男で、「おしゃべり」の絵は女なの？なんて議論・討論もできる。「照れて」る絵や、「謙遜して」る絵なんかを見ながら、ノンバーバルを観察することもできる。教科書の練習問題を一字一字追いつながら音読し、問題を解いていくテキストベース、文字中心の言語教育から、活動ベースの教育・学習へ展開していくためには、素材で/とあそぶ精神が必要だろう。ただ、難儀なのは、イラストや音声、動画などの視聴覚・マルチメディア教材って情報がたくさんつまってて、どんどん時間がたっちゃうてこと。“遊びでほんとうに難しいのは、ただ一つだ。遊びを終わらせること。どんなにたのしくたって、遊びはほんとうは、とても怖いのだ”(『隠れんぼう』『深呼吸の必要』長田弘、晶文社1984)。学びもホントは“とても怖い”ことかもしれない。



セミナー

SEMINARS

●初心者のための『みんなの日本語初級 I、II』の教え方・東京会場

内容：①『みんなの日本語初級 I』
②『みんなの日本語初級 II』

*①②各計10時間

日時：① 8月16日(土) 10:30~12:30、13:30~16:30
8月17日(日) 10:30~12:30、13:30~16:30

② 8月23日(土) 10:30~12:30、13:30~16:30
8月24日(日) 10:30~12:30、13:30~16:30

会場：(財)海外技術者研修協会 東京研修センター

講師：飯塚達雄 (スリーエーネットワーク日本語講師)

定員：25名(8名より開講)

費用：①②各15,000円

主催：スリーエーネットワーク

協力：(財)海外技術者研修協会

●『みんなの日本語初級 I』の教え方・大阪会場

内容予定は1課~25課までを、全6回に分け、各回参加できる形式です。詳細が決まり次第、講座案内を送付いたしますので、講座係までお問合せください。

日程：2003年秋~冬、土、日の午後。全6回(予定)

講師：田中よね、牧野昭子他(予定)

会場：エル・おおさか(予定)

定員：20名(予定)

主催：スリーエーネットワーク

以上、問合せ/申込み先：スリーエーネットワーク講座係
〒101-0064 東京都千代田区猿樂町2-6-3松栄ビル
TEL:03-3292-6410 FAX:03-3292-6197
E-mail:ja-net@3anet.co.jp

●「中級日本語段階の日本語支援」

日時：9月20日(土) 13:30~16:30

会場：ひょうご国際プラザ

講師：土岐哲(大阪大学教授)

定員：100名(定員になり次第締め切ります)

費用：会員500円、非会員1,000円

申込み：住所、氏名、電話番号を明記の上、郵送、FAX、E-mailでお申込み下さい。

問合せ/申込み先：長嶋昭親

655-0884 神戸市垂水区が山5-6-1

TEL:090-3161-6046 FAX:078-752-8415

E-mail: buadu406@hi-net.zaq.ne.jp

主催：兵庫日本語ボランティアネットワーク

ほん

BOOKS

本誌に表示した価格は税別です。

みんなの日本語初級 I

導入・練習イラスト集

発売中 2,200円

みんなの日本語初級 II

翻訳・文法解説ロシア語版

発売中 2,000円

翻訳・文法解説ドイツ語版

発売中 2,000円

新日本語の中級 文法解説書 韓国語版

発売中 1,600円

新日本語の中級 分冊 韓国語訳

発売中 1,700円

新日本語の中級 会話場面・語彙イラストシート

8月発売予定 1,800円

日本語文法演習 敬語を中心とした対人関係の表現・待遇表現

発売中 1,300円

語彙力ぐんぐん 1日10分

発売中 800円

改訂版 韓国語レッスン初級 I・II

発売中 各2,400円

改訂版 韓国語レッスン初級 I・II CD

発売中 各2,800円

BEM-VINDO À ESCOLA PRIMÁRIA DO JAPÃO

ブラジル人と小学校教師のための学校生活まるとガイド-ポルトガル語訳つき

発売中 1,500円

Now You're Talking! -Japanese Conversation for Beginners 日本語20時間

発売中 1,900円

英語圏の外国人向け入門日本語テキストです。20時間という短時間で必要最低限の日本語が学べます。

ローマ字併記、英訳、CD付(会話、語彙、全練習問題を収録)なので独習も可能です。B5判、150頁。

完全マスター漢字 日本語能力試験 1級レベル

9月発売予定 予価：1,400円

日本語能力試験出題基準 1級の漢字903字(2級までの漢字を除く)に語彙の出題基準を合わせて整理した問題集。漢字を漢字語彙としてとらえ、第1部で訓読みを、第2部で音読みを学習する。イラスト・例文・問題で実力を養成。テストで確認することで確実に漢字力をアップ。全30回、音訓索引・別冊教師用手引き付き。

スリーエーネットワーク創立30周年記念行事
フォーラム「ことばと学び昨日・今・明日」
フォーラムには多くのお申し込みありがとうございました。申し込みは7月10日に終了させていただきました。

フォーラム内容(敬称略)

前半：全体会(パネル・ディスカッション)

・西原鈴子(東京女子大学教授)

・宇土泰寛(港区立三光小学校教諭)

・佐藤節衛(東京学芸大学教授)

後半：分科会 進行

・大蔵守久(波多野ファミリスクール)

・岡崎幹(お茶の水女子大学)

・金子正人(横浜市立いちよう小学校)

・齋藤ひろみ(東京学芸大学)

・松本一子(東海日本語ネットワーク)

フォーラム日時

日時：2003年8月22日(金) 10:30~16:30

(開場：10:00、昼休み：90分)

会場：自由学園明日館 東京都豊島区西池袋2-31-3

フォーラムについての問合せ先：

スリーエーネットワークフォーラム担当

TEL:03-3292-6410 FAX:03-3292-6197

E-mail:ja-net@3anet.co.jp

お知らせ

INFORMATION

●「みんなの日本語初級 I」語彙訳配布のお知らせ

毎日の予習復習に、授業前の語彙チェックに。

「翻訳・文法解説」にない言語を揃えました。

*配布価格：800円 *装丁：B5判、56頁

*書店での販売はございません。

*配布中…中国語繁体字、イタリア語、ビルマ語

*7月30日配布予定…フィリピン語、グルジア語

*8~9月配布予定…モンゴル語

*年内予定…シンハラ語、ベトナム語、トルコ語

問合せ：スリーエーネットワーク企画室

TEL:03-3292-6410 FAX:03-3292-6197

●新刊情報等にはHPをご利用下さい

新刊情報、「みんなの日本語初級 I」語彙訳、セミナーなど、最新情報を掲載しています。ご覧ください。

<http://www.3anet.co.jp/index.html>

●皆様からの投稿や各コラムへのご質問、ご意見等をお待ちしております。採用させて頂いた方には粗品を進呈いたします。また本誌をご希望の方は、お名前、ご住所、所属をFAX等で編集室までお知らせください。無料でお届けします(国内のみとさせていただきます)。「Ja-Net」第27号は10月25日発行予定です。